

企業紹介

朝日印刷株式会社

〈会社概要〉

朝日印刷は、1872(明治5)年に創業し、1946年に朝日印刷紙器株式会社として設立しました。

1960年代前半には「くすりの富士」という立地環境を生かし、有力地場産業である配置家庭薬向け印刷包材の供給で独自の地位を築き、その後は国内主要都市に拠点を開設して医薬品包材事業を全国に展開してきました。

1970年代後半には化粧品、パッケージ分野にも進出し、創業から150年近く経た現在では「美と健康の分野」において包装を核とした商品と様々なサービスを提供する事業を行っています。

富山市一番町にある本社や婦中町にある5つの工場に加え、京都クリエィティブパーク、全国に20箇所ある営業拠点など合わせて1,300名余りの従業員が各地で勤務しています。

「創業200年の夢」の達成に向けて「自分の子供や孫の世代も入社させた」と言われる企業を目指し、総務部と産業保健スタッフが中心となって心身の健康づくりに力を入れています。

当社の健康課題は多くありますが、現在行っている取り組みをご紹介させていただきます。



健康経営

当社では「従業員の健康」を経営課題として捉え、中長期経営計画のビジョンのひとつに「働き方改革(ワークライフバランスのとれた従業員満足度No.1企業を目指す)」を掲げるなど健康経営に取り組みんでいます。

ストレスチェック

毎年8月に産業医と保健師を実施者としてストレスチェックを行っています。回答率は99%と非常に高く、従業員自身のストレスへの気付きを促す良い機会となっています。



このストレスチェックの結果については職場ごとに分析を行い、同業種平均や過去の結果と比較する中で見えてきた課題を安全衛生委員会にて報告しています。今後はこの課題解決に向けたより具体的な対策を行うっていく必要があると感じています。

メンタルヘルス対策

社内にメンタルヘルス相談窓口を設置し、公共の相談窓口と併せてポスターや社内報にて周知するほか、セルフケア能力の向上を目的に新入社員および入社3年目の社員を対象にメンタルヘルス研修を実施しています。

昨年は新たに「メンタルヘルス不調者の職場復帰支援要領」を作成するなど体制の整備にも取り組んでいます。

相談窓口のご案内

人間関係の悩みや、仕事の悩み、心身の健康に関する悩み、ご自身やご家族の悩みなど一人で悩まずご相談ください。	
※ 匿名相談も可 ※ 相談内容は厳格に守られます ※ 相談によって「イライラしてしまったり、泣き止まらなくなったり」などの状態も改善します。	
社内の相談窓口	相談日時(場所)
毎月第2水曜日 14:00~(東工事業場は15:00~) 15:30~(富山工場 保健室) ※ 相談内容は厳格に守られます	※ 事前の予約は不要です。相談室までご連絡ください。
保健師への相談	毎日10:00~17:00(富山工場 保健室)
※ 相談内容は厳格に守られます。相談内容は厳格に守られます。	※ 事前の予約は不要です。相談室までご連絡ください。
外部の相談窓口	相談日時
富山工場 TEL: 0120-565-465 月・火 9:00~17:00 水・木 9:00~16:00 金 9:00~16:00	※ メンタルヘルス不調者に対する支援や、就業支援などを行います。
富山工場 TEL: 076-428-0906 月・火 9:30~17:00 水・木 9:30~16:00 金 9:30~16:00	※ 富山工場に勤務する従業員が対象です。

運動の機会の提供

昨年は従業員が運動を始めるきっかけづくりのため、従業員組織である朝親会が中心となって「ランニング講習会」を開催しました。

日頃、運動する機会の少ない人にも参加してもらえよう、ランニング指導者を招き「走り方の解説」から丁寧に教えていただきました。

参加者からは「久しぶりに体を動かした!」、「みんなと走ると楽しい。」といった声が聞かれ、その後開催されたリレーマラソン大会へ挑戦する人も出てきました。

この他にも、各クラブ(野球、フットサル、スキー、ハイキング等)の活動費の助成を行うなど運動の機会へのサポートを行っています。



健康診断の実施と活用

毎年の定期健診(35歳未満)と生活習慣病予防健診(35歳以上)に加え、有機溶剤取扱従事者には年2回の特殊健康診断、深夜業従事者には年2回の定期健診を徹底して実施しています。

定期健診では法定健診項目に加え、腎機能検査(全員)、大腸がん検診(35歳以上全員)、胃がん検診(35歳以上希望者)、乳がん検診(女性30歳以上希望者)、子宮頸がん検診(女性20歳以上希望者)を行っています。

また、各種健診においては受診漏れがないよう名簿管理や未受診者への受診勧奨を行うことで受診率100%を達成しています。

なお、これらの健診結果を踏まえた特定保健指導や労災保険二次健診の実施に加え、対象とならなかった従業員に対しても、健診結果に応じて適宜保健師による保健指導や受診勧奨の面談を行っています。

今後は要受診・要精密検査と判定された全従業員に対して書面による受診確認を行うことなども検討しています。

分煙対策と禁煙の啓発

当社の喫煙割合は男女ともに全国平均を上回っており、喫煙率の改善が課題となっています。

当社は建物内禁煙とし、換気扇を設置した喫煙所を設けて徹底した分煙対策を行うほか、喫煙所においてはタバコの害や禁煙外来に関する情報の掲示を行っています。今後は禁煙教室の開催なども積極的に取り組んでいきたいと思えます。

感染症対策

当社は全従業員を対象にインフルエンザの予防接種を実施しています。また、流行シーズンに合わせてインフルエンザ対策特別態勢を宣言し、従業員のマスク着用と出社時の手洗い・うがい、来訪者を含めた手指消毒の徹底など社内蔓延防止に取り組んでいます。

この他にも各種感染症の流行情報や予防方法など従業員に向けた情報発信も行っています。

身近な取り組み

従業員が身近なところから健康意識を高めてもらえるよう、各工場に血圧計を設置しているほか、階段カロリー消費ステッカーの貼付や食堂メニュー・自販機へのカロリー表示、健康をテーマにした卓上メモの設置などを行っています。

日頃の生活の二コマに健康に関する知識の提供や健康を意識した行動変容へのアプローチができるよう工夫しています。

健康づくりにおける会社の役割

少子高齢化等に伴い、今後企業においては更に従業員が元気で長く働くための取り組みが求められる世の中になります。

このことも踏まえ、会社は従業員一人一人が「健康」の重要性について認識できる機会を提供し、健康確保のためのサポートを行うことが重要と考えます。

当社においても従業員が「笑顔」で「健康」に働き続けられる会社を目指し、より良い取り組みを進めていきたいと思えます。

消化器がんを早く、正確に 発見できるマイクロアレイ検査

一般財団法人北陸予防医学協会 施設長 管理医師 山上 孝司

がんの5年生存率、10年生存率がどんどん向上していますが、膵がんと胆道がんについては、依然として早期発見が難しく、5年生存率が大変低くなっています。

そんな中、金沢大学旧第一内科（現在の消化器内科）の金子先生のグループは、血液中の単核球のmRNAパターンを調べることで、消化器がん（胃がん、大腸がん、膵がん、胆道がん）を早期に正確に発見する方法を開発しました。今回このマイクロアレイ検査を当協会でも導入することが決まりましたので、ご紹介させていただきます。

mRNAというのは遺伝子の1つであり、DNAからタンパクが合成される時に、その都度合成されるものです。マイクロアレイ検査では、縦2.5cm×横7.5cmのガラス版に、4万4000種類のDNA断片を吸着させ、それと結合する単核球細胞中のmRNAを把握し、受診者において増えているmRNAを測定し、消化器がんにおいて増加するパターンと比較するものです。

がんが発生すると、組織における単核細胞から、がん細胞を殺す物質や、がんにつながる血管を減らす物質、がん免疫を上げる物質が合成されるのですが、その時のmRNAを測定することでがんの有無を調べるものです。

この検査の精度について、表1に示します。消化器がん患者37人の全員がマイクロアレイ検査で陽性と診断されました。がん患者を陽性と診断する精度を感度といいます。感度は100%です。次に健常人15人中、陰性が13人でした。健常人を陰性と診断する精度を特異度といいます。特異度は87%です。金沢大学と共同でこの検査を開発したキュービクスという会社における別のデータでは、

感度98.5%、特異度92.9%という成績が出ています。いずれにしてもがん検診の精度としては、非常に素晴らしい精度です。

また表2に示したように、がんの進行度別に見ても、0～Ⅱのいわゆる早期がんにおいても感度は100%です。

この検査の欠点をあげるとしたら、費用が高いということです。しかし当初は10万円以上かかっていたのですが、現在は7万円ですることになりました。当協会でも7万円で検査を実施いたします。金額が高いので、なかなか毎年受けるというわけにはいかないかもしれませんが、身内に膵がん、胆道がんが見られる方は、ぜひ定期的に受けると思います。

表1 がんと非がんの識別

	陽性	陰性	計
健常人	2	13	15
がん患者	37	0	37

感度 = $37/37 * 100 = 100(\%)$

特異度 = $13/15 * 100 = 87(\%)$

参考文献：BBRC.2010 Sep10;400(1):7-15

表2 進行度別の感度

	症例数	0～Ⅱ	Ⅲ～Ⅳ
胃がん	22	16/16	6/6
大腸がん	14	8/8	6/6
膵がん	23	3/3	19/20
胆道がん	8	4/4	4/4

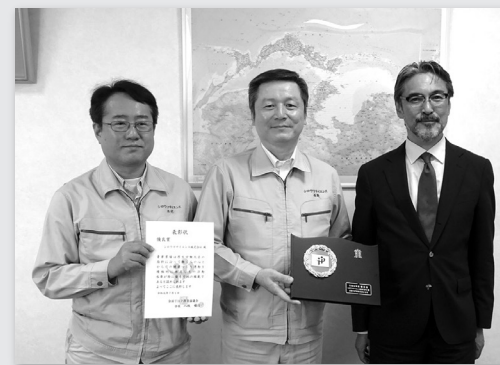
(株)キュービクス社内資料

令和元年度全国THP表彰 「シロウマサイエンス株式会社」優良賞受賞

令和元年度全国THP推進協議会表彰において、シロウマサイエンス株式会社様が優良賞を受賞されました。

令和元年7月8日(月)に富山県THP推進協議会会長である当協会本部長が、全国THP推進協議会会長に代わり表彰状と盾を授与させていただきました。

シロウマサイエンス株式会社は、下新川郡に所在し、合成樹脂、その他の素材を原料とする新商品の研究開発と製造販売、医薬品、医療部外品の製造販売を行っている事業場です。



平成12年よりTHPに継続的に取り組んでおり、定期健康診断、人間ドック受診率100%、特定保健指導、ストレスチェック実施率100%、またインフルエンザの予防や熱中症対策など予防活動にも力を入れ積極的に取り組まれています。社員の健康活動の一環として歩こう会やボウリング大会、バーベキューなどのレクリエーション活動やクラブ活動補助金助成、入善町の健康ポイント活動に参加など、意欲的に取り組まれており総合的かつ継続的な健康づくりの活動を推進してこられたことを評価され、このたびの受賞となりました。

新 医 師 紹 介

加藤 潔 [資格]日本産科婦人科学会認定 産婦人科専門医

約40年間、産婦人科医師として病院勤務をしていました。4月から縁あって当健診プラザで子宮がん検診を担うことになりました。

子宮がんというと、子宮頸がんというイメージが強いかと思いますが、近年、子宮体がんが増えてきています。今や頸がんと体がんの比率は1対1と言われています。体がんは月経が不順となる年代から増えてきますので、今後当プラザでも体がん細胞診の検査数を増やしていけたらと考えています。

皆様方のご協力をお願いいたします。



野村 邦紀 [資格]日本医学放射線学会専門医・日本放射線腫瘍学会認定医・日本超音波医学会指導医

富山大学附属病院放射線治療科を定年退官し、4月より入職いたしました。健診業務、ドックの解説、各種画像の診断、超音波検査士の育成などに尽力したいと思っております。趣味は、青年時はバドミントンとトランペット、熟年の今はゴルフと尺八です。ゴルフは45歳から始め100を切ったことは4回しかありません。琴古流尺八師範で、宗家竹友社北陸支部長です。妻と3人の娘からは、「多趣味な医者、医者も趣味のひとつやろ」と褒められております。

よろしく願いいたします。



下出 哲弘

これまで、金沢大学附属病院をはじめとした医療機関で消化器内科医として従事していました。お医者さんにも、誰かの幸せへの貢献の仕方には種々ありますが、今回は健診医として働かせていただくことになりました。

病院で働いていますと、カルテ上で必ず患者様の病歴に接しますが、その第1行目には、『●歳の時に、健康診断で●を指摘され、●を受診した』という記述をよく目にします。今回、患者様の歴史の第1ページを担うことになる大切な仕事を任せさせていただくことになり大変嬉しく思います。また、健康診断では自分の専門分野以外の多様な疾患を目にすることも多く、『総合診療屋っぽい消化器屋』になる野望を抱く身としては、またと無い機会と考えています。がんばるゾー！

